

学習成果の把握について

教育開発・連携支援室（教務部内）

1. 学習成果とは

学習成果とは、「学習の結果としてもたらされる個人の変化や利益」を意味し、「そうした変化や利益は、能力または達成度という形で測定できる」といわれます（経済協力開発機構（OECD）^{注1}）。

今日の大学においては、成績と同様に、学生の皆さん個々の学習成果を把握することが求められています。

2. 本学における学習成果の把握

本学では、UNIVERSAL PSSPORT のマイステップ機能を用いて、リエゾンポートフォリオを導入しています。

本来、リエゾンポートフォリオは、学習の成果を蓄積するためのツールです。また、自らの学習をふり返り、到達目標と現状との差を知り、到達目標の達成に向けて計画・実行していくためのツールです。そして、その活用の結果として、どの程度学習を達成したのかがわかります。

そこで、このリエゾンポートフォリオを用いて、学生の皆さんが自らの学習成果を把握するとともに、大学としてもリエゾンポートフォリオの一部を活用して学生の皆さん一人一人の学習成果を把握させていただき、教育等の向上や改善に役立たせていただきたいと思います。

なお、把握した学習成果は個人情報として扱いますので、表に出ることは一切ありません。

3. 入学後と卒業前のマイステップへの記入

学習成果の把握には、学習前と学習後を比較することが必要です。つきましては、特に、入学後の1年次前期と卒業前の4年次の後期には、ゼミ・演習等の担当教員により勧められる所定のマイステップ・リエゾンポートフォリオにご記入いただきますよう、ご協力をお願いします。

4. お問い合わせ

ご不明の点は、遠慮なく、ゼミ・演習担当教員や教育開発・連携支援室などにお問い合わせください。

注

1) D.Nusche（著）、深堀聡子（訳） 2008 『高等教育における学習成果アセスメント ―特筆すべき事例の比較研究―、OECD 教育関連ワーキングペーパー No.15』、国立教育政策研究所
<http://www.oecd.org/edu/skills-beyond-school/41771582.pdf>